

施設名 ()

記入者様ご氏名 () 記入者様ご職名 ()

※「心のケア」とは心理的あるいは心療的なケアを定期的・継続的（概ね半年以上）に行うことを指します。ADHD など軽度発達障害への対応を含みます。ケースワーカーとの連携は含みません。

【Q1】貴施設では、入所児童に対して「心のケア」に相当する対応を実施されていますか、あるいはそのような対応をしている子どもがいますか？

注) 医療機関への相談、児童相談所通所等を含む幅広い対応を念頭にお答え下さい。

(はい ・ いいえ)

【Q2】「心のケア」の方法は、主に誰がどのように決定されていますか。

1. 施設長の判断による
2. ケース会議の同意による
3. 心のケアを担当する職員（コーディネーター）の判断による
4. 心理士の判断による
5. その他 ()

【Q3】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、医師や医療機関を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q3-7までお進みください。

Q3-1 医師や医療機関をどの程度利用されていますか、またその理由もご記入下さい。

(1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない)

理由 []

Q3-2 どのような場面で医師や医療機関と連携されていますか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケアの相談
2. 特に必要な子どもへの施設内での個別ケア
3. 特に必要な子どもの医療機関への受診
4. 職員の研修
5. トラブル発生時の施設への危機介入的援助
6. トラブル発生時の子どもへの危機介入的サポート
7. その他 ()

Q3-3 医師や医療機関の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)

b. 連携について

(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)

Q3-4 Q3-3 の理由をご記入下さい。

a. 効果について ()

b. 連携について ()

Q3-5 医師や医療機関と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

()

Q3-6 今後、医師や医療機関をさらに利用したいとお考えですか。(はい ・ いいえ)

※ 【Q3】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q3-7～Q3-8をご回答下さい。

Q3-7 医師や医療機関を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない 2. 予算的に困難 3. 時間、または職員数の都合上困難
4. 近くに利用できる医療機関がない 5. その他 ()

Q3-8 今後、医師や医療機関を利用する予定・希望はあるか、適切なものをご選択下さい。

1. 予定がある 2. 予定はないが希望はある 3. 予定も希望もない

【Q4】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、児童相談所を利用している児童はいますか(就学前判定など全ての子どもに実施するものを除く)。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q4-7までお進みください。

Q4-1 児童相談所をどの程度利用されていますか、またその理由もご記入下さい。

(1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない)

理由 ()

Q4-2 どのような場面で児童相談所と連携されていますか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケアの相談
2. 特に必要な子どもの通所相談
3. 特に必要な子どもへの対応に関する職員の相談
4. 職員の研修
5. トラブル発生時の施設への危機介入的援助
6. トラブル発生時の子どもへの危機介入的サポート
7. その他 ()

Q4-3 児童相談所の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

- a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)
- b. 連携について
(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)

Q4-4 Q4-3 の理由をご記入下さい。

- a. 効果について ()
- b. 連携について ()

Q4-5 児童相談所と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

()

Q4-6 今後、医師や医療機関をさらに利用したいとお考えですか。(はい ・ いいえ)

※ 【Q4】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q4-7～Q4-8をご回答下さい。

Q4-7 児童相談所を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない
2. 時間、または職員数の都合上困難
3. 近くに利用できる児童相談所がない
4. その他 ()

Q4-8 今後、児童相談所を利用する予定・希望はあるか、適切なものをご選択下さい。

1. 予定がある
2. 予定はないが希望はある
3. 予定も希望もない

【Q5】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、教育機関（教育研究所・教育センター等、スクールカウンセラー、適応指導教室、等）を利用している児童はいますか。

（ はい ・ いいえ ） ※「いいえ」を選択された場合、Q5-7までお進みください。

Q5-1 教育機関をどの程度利用されていますか、またその理由もご記入下さい。

（ 1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない ）

理由 []

Q5-2 どのような場面で教育機関と連携されていますか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケアの相談
2. 特に必要な子どもの通所相談
3. 特に必要な子どもへの対応に関する職員の相談
4. 職員の研修
5. トラブル発生時の施設への危機介入的援助
6. トラブル発生時の子どもへの危機介入的サポート
7. その他 ()

Q5-3 教育機関の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について（ 1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない ）

b. 連携について

（ 1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない ）

Q5-4 Q5-3の理由をご記入下さい。

a. 効果について ()

b. 連携について ()

Q5-5 教育機関と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

()

Q5-6 今後、教育機関をさらに利用したいとお考えですか。（ はい ・ いいえ ）

※ 【Q5】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q5-7～Q5-8をご回答下さい。

Q5-7 教育機関を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない
2. 時間、または職員数の都合上困難
3. 近くに利用できる教育機関がない
4. その他 ()

Q5-8 今後、教育機関を利用する予定・希望はあるか、適切なものをご選択下さい。

1. 予定がある
2. 予定はないが希望はある
3. 予定も希望もない

【Q6】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、大学の心理相談室や教員等を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q6-7までお進みください。

Q6-1 大学の心理相談室等をどの程度利用されていますか、またその理由もご記入下さい。

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない

理由 ()

Q6-2 どのような場面で大学の心理相談室等と連携されていますか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケアの相談
2. 特に必要な子どもの通所相談
3. 特に必要な子どもへの対応に関する職員の相談
4. 職員の研修
5. トラブル発生時の施設への危機介入的援助
6. トラブル発生時の子どもへの危機介入的サポート
7. その他 ()

Q6-3 大学の心理相談室等の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)

b. 連携について

(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)

Q6-4 Q6-3の理由をご記入下さい。

a. 効果について ()

b. 連携について ()

Q6-5 大学の心理相談室等と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。
()

Q6-6 今後、大学の心理相談室等をさらに利用したいとお考えですか。(はい ・ いいえ)

※ 【Q 6】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q6-7～Q6-8をご回答下さい。

Q6-7 大学の心理相談室等を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない
2. 予算的に困難
3. 時間、または職員数の都合上困難
4. 近くに利用できる大学がない
4. その他 ()

Q6-8 今後、大学の心理相談室等を利用する予定・希望はあるか、適切なものをご選択下さい。

1. 予定がある
2. 予定はないが希望はある
3. 予定も希望もない

【Q 7】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、施設内心理士を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※ 「いいえ」を選択された場合、Q7-13までお進みください。

Q7-1 施設内心理士をどの程度利用されていますか、またその理由もご記入下さい。

- (1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない)

理由

[]

Q 7-2 どのような場面で施設内心理士と連携されていますか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケア
2. 特に必要な子どもへの心理療法
3. 集団療法・グループワーク等の援助
4. 心理検査・発達検査
5. 職員との意見交換
6. ケースカンファレンスへの参加
7. 職員への研修会
8. 親への対応
9. 児童相談所等との連絡
10. 卒園児へのアフターケア
11. その他 ()

Q 7-3 心理療法のために使用される専用の設備はありますか。(有 ・ 無)

※Q7-3で「有」を選択された場合、Q7-4とQ7-5にご回答ください。

「無」を選択された場合、Q7-6にお進みください。

Q7-4 設備の詳細（広さ・設置場所）についてご記入下さい。

〈記入例〉

プレイルーム2室（①約17㎡・生活棟とは別棟に設置、②約10㎡・生活棟内に設置）
面接室1室（約10㎡・生活棟とは別棟に設置）

[]

Q7-5 心理療法のための設備を、施設に入所している子どもの心理療法以外の目的で使用する
ことがある場合、適切なものを全てご選択下さい。

1. 入所している子どもの親カウンセリング 2. 通所来談児の心理療法
3. 通所来談者のカウンセリング 4. その他（ ）

※Q7-4とQ7-5を回答された場合、Q7-9にお進み下さい。

Q7-3で「無」を選択された場合、Q7-6からご回答下さい。

Q7-6 心理士が心のケアを実施している場所について具体的にご記入ください。

1. 静養室 2. 面会室 3. 応接室
4. その他（ ）

Q7-7 心理療法のための設備がない理由をお答えください。

1. 必要を感じない 2. 予算的に困難 3. その他（ ）

Q7-8 今後、心理療法のための設備を設置する予定・希望はあるか、適当なものをご選択
ください。

1. 予定がある 2. 予定はないが希望はある 3. 予定も希望もない

※ Q7-3の答えに関わらず、Q7-9～Q7-12はご回答下さい。

Q7-9 施設内心理士の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について（1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない）

b. 連携について

（1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない）

Q7-10 Q7-9の理由をご記入下さい。

- a. 効果について ()
- b. 連携について ()

Q7-11 施設内心理士と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

[]

Q7-12 今後、施設内心理士をさらに利用したいとお考えですか。(はい ・ いいえ)

※ 【Q7】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q7-13～Q7-15をご回答下さい。

Q7-13 施設内心理士を利用していない理由をお答え下さい。

1. 心理士を配置していない 2. 心理士が心のケアを実施していない
3. その他 ()

Q7-14 Q7-13で「心理士を配置していない」と回答された場合、お答えください。

今後、「こころのケア」専門のスタッフを配置する予定・希望はあるか、適切なものをご選択下さい。

1. 予定がある 2. 予定はないが希望はある 3. 予定も希望もない

Q7-15 Q7-14で「予定」あるいは「希望」があると回答された場合、どのような予定・希望であるかをご記入下さい。

<勤務形態> 1. 常勤 2. 非常勤 3. ボランティア

<業務内容>

1. 子どもへの日常的なケア 2. 特に必要な子どもへの心理療法
3. 職員との意見交換 4. ケースカンファレンスでの助言
5. 家族との調整 6. 児童相談所との連絡 7. 職員への研修会
8. その他 ()

「心のケア」に関する実態調査

(直接処遇職員様)

近年、児童養護施設入所児童の入所に至る経緯はますます複雑化・多様化してきており、その対応においてもより個別的で目細かい配慮を要するようになってまいりました。また国の施策としても、2006年度より施設内心理士の常勤配置が本格的に導入され、入所児童に対する心理的な援助はますます重視されるようになっていきます。

本調査は、現在児童養護施設において行われている「心のケア」の実態を把握し、今後のより良い援助に活かそうとするものです。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

本調査は、兵庫県児童養護連絡協議会心のケア専門委員会の協力の下、神戸大学大学院医学研究科展開医科学環境応答医学精神神経科・田中究、甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻・森茂起、大阪大学人間科学研究科臨床教育学講座・西澤哲が統括責任を持ち、実施いたします。また、調査結果は本調査の目的のみに活用するものであり、原資料は全て田中究・森茂起・西澤哲が管理し、調査終了後は全て廃棄いたします。

本調査の結果につきましては、個人情報に十分配慮して兵庫県児童養護連絡協議会心のケア専門委員会を通して公表し、学会誌等に結果を発表する予定です。本調査は、厚生労働科学研究費補助金(17130301) (研究代表者：奥山眞紀子「児童虐待等の子どもの被害及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」)の補助を受けて行われます。

施設名 ()

性別 (男性 ・ 女性) 勤続・在籍年数 (年)

資格 (保育士・社会福祉士・教員免許・看護師・その他 ())

※お持ちの資格全てに○をつけてください。

※ 「心のケア」とは心理的あるいは心療的なケアを定期的・継続的（概ね半年以上）に行うことを指します。ADHD など軽度発達障害への対応を含みます。ケースワーカーとの連携は含みません。

【Q1】 現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、医師や医療機関を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q1-10 までお進みください。

Q1-1 医師や医療機関の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)

b. 連携について

(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)

c. 利用の程度について

(1. 十分利用できている 2. ある程度利用できている 3. あまり利用できていない)

Q1-2 Q1-1 の理由をご記入下さい。

a. 効果について ()

b. 連携について ()

c. 利用の程度について ()

Q1-3 今後、医師や医療機関をさらに利用したいとお考えですか。(はい ・ いいえ)

Q1-4 医師や医療機関と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。
()

Q1-5 医師や医療機関から提供されている情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。
1. 治療方針 2. 具体的な治療の内容 3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言 5. 診断名 6. 薬の説明
7. 検査等の結果 8. その他 ()

Q1-6 医師や医療機関から提供してほしい情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。
1. 治療方針 2. 具体的な治療の内容 3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言 5. 診断名 6. 薬の説明
7. 検査等の結果 8. その他 ()

Q1-7 医師や医療機関に提供している情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。
1. 受診理由以外の問題について 2. 生育歴 3. 入所理由 4. 他児との関係
5. 職員との関係 6. 親・家族との関係 7. 学校での様子
8. その他の生活状況 9. 他機関での相談状況 10. その他 ()

Q1-8 医師や医療機関に提供すべきと思う情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。
1. 受診理由以外の問題について 2. 生育歴 3. 入所理由 4. 他児との関係
5. 職員との関係 6. 親・家族との関係 7. 学校での様子
8. その他の生活状況 9. 他機関での相談状況 10. その他 ()

Q1-9 互いの情報を交換する際の手段を全てご選択下さい。
1. 記録文書の共有 2. ケースカンファレンス 3. 受診時の面談
4. 受診時以外の連絡 5. その他 ()

※ 【Q1】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q1-10～Q1-11をご回答下さい。

Q1-10 医師や医療機関を利用していない理由をお答え下さい。
1. 必要を感じない 2. 予算的に困難 3. 時間、または職員数の都合上困難
4. 近くに利用できる医療機関がない 5. その他 ()

Q1-11 今後、医師や医療機関を利用する希望はありますか。 (ある ・ ない)

【Q2】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、児童相談所を利用している児童はいますか（就学前判定など全ての子どもに実施するものを除く）。

（ はい ・ いいえ ） ※「いいえ」を選択された場合、Q2-10までお進みください。

Q2-1 児童相談所の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について（1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない）

b. 連携について

（1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない）

c. 利用の程度について

（1. 十分利用できている 2. ある程度利用できている 3. あまり利用できていない）

Q2-2 Q2-1の理由をご記入下さい。

a. 効果について（ ）

b. 連携について（ ）

c. 利用の程度について（ ）

Q2-3 今後、児童相談所をさらに利用したいとお考えですか。（ はい ・ いいえ ）

Q2-4 児童相談所と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

（ ）

Q2-5 児童相談所から提供されている情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や問題についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他（ ）

Q2-6 児童相談所から提供してほしい情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や問題についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他（ ）

Q2-7 児童相談所に提供している情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 通所理由以外の問題について
2. 他児との関係
3. 職員との関係
4. 親・家族との関係
5. 学校での様子
6. その他の生活状況
7. 他機関での相談状況
8. その他 ()

Q2-8 児童相談所に提供すべきと思う情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 通所理由以外の問題について
2. 他児との関係
3. 職員との関係
4. 親・家族との関係
5. 学校での様子
6. その他の生活状況
7. 他機関での相談状況
8. その他 ()

Q2-9 互いの情報を交換する際の手段を全てご選択下さい。

1. 記録文書の共有
2. ケースカンファレンス
3. 通所時の面談
4. 通所時以外の連絡
5. その他 ()

※ 【Q2】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q2-10～Q2-11をご回答下さい。

Q2-10 児童相談所を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない
2. 時間、または職員数の都合上困難
3. 近くに利用できる児童相談所がない
4. その他 ()

Q2-11 今後、児童相談所を利用する希望はありますか。 (ある ・ ない)

【Q3】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、教育機関(教育研究所・教育センター等、スクールカウンセラー、適応指導教室、等)を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q3-10までお進みください。

Q3-1 教育機関の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

- a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)
- b. 連携について
(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)
- c. 利用の程度について
(1. 十分利用できている 2. ある程度利用できている 3. あまり利用できていない)

Q3-2 Q3-1 の理由をご記入下さい。

- a. 効果について ()
- b. 連携について ()
- c. 利用の程度について ()

Q3-3 今後、教育機関をさらに利用したいとお考えですか。 (はい ・ いいえ)

Q3-4 教育機関と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

()

Q3-5 教育機関から提供されている情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

- 1. 援助方針 2. 具体的な援助の内容 3. 子どもの発言
- 4. 子どもの行動や問題についての説明と助言 5. 心理検査・発達検査の結果
- 6. その他 ()

Q3-6 教育機関から提供してほしい情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

- 1. 援助方針 2. 具体的な援助の内容 3. 子どもの発言
- 4. 子どもの行動や問題についての説明と助言 5. 心理検査・発達検査結果
- 6. その他 ()

Q3-7 教育機関に提供している情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

- 1. 相談理由以外の問題について 2. 生育歴 3. 入所理由 4. 他児との関係
- 5. 職員との関係 6. 親・家族との関係 7. 学校での様子
- 8. その他の生活状況 9. 他機関での相談状況 10. その他 ()

Q3-8 教育機関に提供すべきと思う情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

- 1. 相談理由以外の問題について 2. 生育歴 3. 入所理由 4. 他児との関係
- 5. 職員との関係 6. 親・家族との関係 7. 学校での様子
- 8. その他の生活状況 9. 他機関での相談状況 10. その他 ()

Q3-9 互いの情報を交換する際の手段を全てご選択下さい。

- 1. 記録文書の共有 2. ケースカンファレンス 3. カウンセラー等との面談
- 4. その他 ()

Q4-5 大学の心理相談室等から提供されている情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他 ()

Q4-6 大学の心理相談室等から提供してほしい情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他 ()

Q4-7 大学の心理相談室等に提供している情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 通所理由以外の問題について
2. 生育歴
3. 入所理由
4. 他児との関係
5. 職員との関係
6. 親・家族との関係
7. 学校での様子
8. その他の生活状況
9. 他機関での相談状況
10. その他 ()

Q4-8 大学の心理相談室等に提供すべきと思う情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 通所理由以外の問題について
2. 生育歴
3. 入所理由
4. 他児との関係
5. 職員との関係
6. 親・家族との関係
7. 学校での様子
8. その他の生活状況
9. 他機関での相談状況
10. その他 ()

Q4-9 互いの情報を交換する際の手段を全てご選択下さい。

1. 記録文書の共有
2. ケースカンファレンス
3. 通所時の面談
4. 通所時以外の連絡
5. その他 ()

※ 【Q 4】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q4-10～Q4-11をご回答下さい。

Q4-10 大学の心理相談室等を利用していない理由をお答え下さい。

1. 必要を感じない
2. 予算的に困難
3. 時間、または職員数の都合上困難
4. 近くに利用できる大学がない
4. その他 ()

Q4-11 今後、大学の心理相談室等を利用する希望はありますか。 (ある ・ ない)

【Q5】現在入所している全ての児童の中で、「心のケア」として、施設内心理士を利用している児童はいますか。

(はい ・ いいえ) ※「いいえ」を選択された場合、Q5-11までお進みください。

Q5-1 施設内心理士の行う「心のケア」について、感じることを率直にお答え下さい。

a. 効果について (1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない)

b. 連携について

(1. とれている 2. ややとれている 3. あまりとれていない 4. とれていない)

c. 利用の程度について

(1. 十分利用できている 2. ある程度利用できている 3. あまり利用できていない)

Q5-2 Q5-1の理由をご記入下さい。

a. 効果について ()

b. 連携について ()

c. 利用の程度について ()

Q5-3 今後、施設内心理士をさらに利用したいとお考えですか。 (はい ・ いいえ)

Q5-4 施設内心理士と連携して子どもを援助する上での、具体的な工夫をご記入下さい。

()

Q5-5 施設内心理士から提供されている情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他 ()

Q5-6 施設内心理士から提供してほしい情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 援助方針
2. 具体的な援助の内容
3. 子どもの発言
4. 子どもの行動や症状についての説明と助言
5. 心理検査・発達検査結果
6. その他 ()

Q5-7 施設内心理士に提供している情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 相談理由以外の問題について
2. 生育歴
3. 入所理由
4. 他児との関係
5. 職員との関係
6. 親・家族との関係
7. 学校での様子
8. その他の生活状況
9. 他機関での相談状況
10. その他 ()

Q5-8 施設内心理士に提供すべきと思う情報はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 相談理由以外の問題について
2. 生育歴
3. 入所理由
4. 他児との関係
5. 職員との関係
6. 親・家族との関係
7. 学校での様子
8. その他の生活状況
9. 他機関での相談状況
10. その他 ()

Q5-9 互いの情報を交換する際の手段を全てご選択下さい。

1. ケース記録の共有
2. 心理面接記録の共有
3. 職員会議
4. ケースカンファレンス
5. 日常のやりとり
6. その他 ()

Q5-10 施設内心理士に行ってほしい業務はどのようなものですか、全てご選択下さい。

1. 子どもへの日常的なケア
2. 特に必要な子どもへの心理療法
3. 集団療法・グループワーク等の援助
4. 心理検査・発達検査
5. 職員との意見交換
6. ケースカンファレンスへの参加
7. 職員への研修会
8. 親への対応
9. 児童相談所との連絡
10. 卒園児へのアフターケア
11. その他 ()

※ 【Q5】で「いいえ」を選択された場合のみ、Q5-11～Q5-13をご回答下さい。

Q5-11 施設内心理士を利用していない理由をお答え下さい。

1. 心理士を配置していない
2. 心理士が心のケアを実施していない
3. その他 ()

Q5-12 今後、施設内心理士を利用する希望はありますか。 (ある ・ ない)

Q5-13 Q5-12で「はい」と回答された場合、どのような希望であるかをご記入下さい。

内容については全てご選択下さい。

- <形態> 1. 常勤 2. 非常勤 3. ボランティア
- <内容> 1. 子どもへの日常的なケア 2. 特に必要な子どもへの心理療法
3. 集団療法・グループワーク等の援助
 4. 心理検査・発達検査
 5. 職員との意見交換
 6. ケースカンファレンスへの参加
 7. 職員への研修会
 8. 親への対応
 9. 児童相談所との連絡
 10. 卒園児へのアフターケア
 11. その他 ()

